令和元年11月5日

**別紙４**

　健康局健康推進部

動物管理センター所長様

建設局公園緑化部天王寺動物公園事務所

天王寺動物園　園長　牧　慎一郎

改善措置終了報告書

このたび、天王寺動物園内で発生したカリフォルニアアシカ（愛称：キュッキュ　メス　３か月齢）の脱出事故に関して、令和元年9月27日、動物管理センター分室の立ち入り調査を受け、同年10月7日付け文書にて指導を受けた事項につきまして、改善措置を講じましたので次のとおり報告します。

記

１　発生日時

令和元年9月26日16時15分頃から9月27日11時頃の間

２　発生場所

天王寺動物園内　アシカ池

３　経過

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 9月26日（木曜日） | 16時 | アシカおやつタイム。キュッキュがいることを確認済 |
| 16時15分頃 | 水の入れ替えのため排水バルブを開錠（排水開始） |
| 17時40分頃 | 排水バルブを施錠し、水の補充を開始。排水溝カバーが外れていることに気づき排水溝カバーを付けなおした（頭数未確認） |
| 9月27日（金曜日）　　 | 9時10分 | 職員がアシカ池に到着（頭数未確認） |
| 11時頃 | キュッキュの姿が見当たらないことに気づき、動物園による園内捜索開始 |
| 11時半頃 | 捜索のため池の水を抜いたところ、排水口カバーが再度外れていることに気づく |
| 15時頃 | 園外下水施設の捜索開始 |
| 17時頃 | 27日（金曜日）の捜索終了 |

３　経過つづき

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 9月28日（土曜日） | 10時10分 | 主に動物園外の下水道施設捜索 |
| 18時 | 28日（土曜日）の捜索終了 |
| 9月29日（日曜日）　　 | 9時55分 | 既捜索箇所のうちアシカの滞留可能箇所を再度捜索 |
| 16時50分 | 29日（日曜日）の捜索終了 |
| 9月30日（月曜日） | 9時10分 | 既捜索箇所のうち動物園内でアシカが滞留可能な箇所を再度捜索 |
| 21時 | 30日（月曜日）の捜索終了 |
| 10月1日（火曜日） | 7時50分 | 捜索開始 |
| 10時12分 | 園内アシカ池周辺の下水施設において、生存した状態で発見し保護に至る |

４　原因

アシカ池の排水口カバーが外れており、排水時にそこから下水施設に流れ出たと考えられます。

５　再発防止策

1. 飼養施設（アシカ池）の逸走防止対策について

令和元年9月30日、アシカ池排水桝内に吸込み防止のグレーチングを設置しました。同10月3日、アシカ池排水口に、新たな排水口カバー（最大直径8cmの穴をあけた鉄板をアシカ池の床面にボルト止め）を設置しました（写真①参照）。

10月16日、排水状況を確認するためアシカ池の排水を行いました。その際、アシカが排水口に近づき、排水口カバーを鼻でつつきましたが、水流で吸い込まれることはなく、排水は問題なく完了しました。排水完了後、排水口カバーの固定状況を確認しましたが、緩みなどの不具合はありませんでした。

（２）日常的な管理及び保守点検について

毎日１回、アシカへ給餌する際に、個体の状態及び頭数の確認を行います。

アシカ池清掃の際、飼育担当職員が池の排水前と清掃終了後の２回、頭数確認を行います。また、清掃時、排水口カバーの固定ボルトに緩みがないか確認します。上記点検方法、項目を反映させたアシカ池での飼育管理手順書を作成しました。

（３）その他

　　園長と飼育員との面談の場を設け、現場の意見を取り入れたうえで、園全体の飼育作業手順の再点検を行い、安全対策に万全を期すべく事故防止に努めます。

【写真①　安全措置を講じた排水口カバー】



【参考　従前の排水口カバー】

以上